



# ボランティア便り

川崎田園都市病院 ボランティア活動機関紙

vol.221 2025/12/16

お問合せはこちらへ

医療法人 若葉会 川崎田園都市病院

〒215-0023 川崎市麻生区片平1782

Tel: 044-988-1118 Fax: 044-988-0009

URL: <http://kawadenhp.com> E-mail: [volunteer@kawadenhp.com](mailto:volunteer@kawadenhp.com)

担当: レクリエーションワーカー 山口・町田

## 活動報告

★当院においてくださっているボランティアの皆様の活動や患者様のご様子を紹介します！

10月10日(金)・14日(火)・16日(木) ハロウィン ※内科病棟通常グループレク時間にて



年々賑わいを見せる『ハロウィン』。今や日本でも広く認識されてきており、10月になるとTVやラジオでも特集が組まれる等、院内でもどこからともなく耳にすることが多くなりました。今年は内科病棟にてハロウィンをテーマにしたレクリエーションを実施し、患者様方に新しい年中行事をお楽しみいただきました。まずは“ハロウィンとは？”“このかぼちゃは？”“何故仮装をするの？”等、写真もご覧いただきながらご紹介。更に当院へ寄贈いただいた“ジャック・オー・ランタン”の型をしたバスケットをお見せすると、頭をぼんと叩き「かわいいわね。」と笑顔を浮かべられる方もいらっしゃいました。今回はお菓子ではなく折り紙でできたかぼちゃのモチーフ(この度も折り紙ボランティアの福原春様にご協力をいただきました。)を入れてお配りし、たくさんの方々に「トリック・オア・トリート！」「ハッピー・ハロウィン！」と仰っていただきました。男性患者様の「きっとクリスマスみたいに、日本独自の形として、これから根付いていくんだろうね。」というお言葉に、これからどんな年中行事になっていくかとワクワクした気持ちの溢れるひとときとなりました。

10月18日(土) ロビーコンサート 出演:ヴォーカルアンサンブル‘丘’(女声合唱)



秋晴れの爽やかな陽気のこの日、7年ぶりにヴォーカルアンサンブル‘丘’の皆様(土屋麻里様、松原恭子様、清水栄子様、山本なおみ様)にお越しいただき、女声アンサンブルの歌声響くコンサートとなりました。プログラムは『シング』『菩提樹』『歌の翼に』『あの町この町～赤とんぼ～荒城の月』『ブルーライトヨコハマ～よこはまたそがれ』『いい日旅立ち』を演奏され、洋楽、クラシック、童謡、唱歌、歌謡曲とバラエティ豊かな内容です。ソプラノ、メゾソプラノ、アルトの歌声とピアノのハーモニーをじっくりと鑑賞される方、手拍子をされる方、一緒に歌われる方等お一人おひとりが会場中に広がる音楽を楽しまれていたようでした。原曲とは一味違うアンサンブルならではの美しく厚みのある響きは、“芸術の秋”という言葉思い起こす素敵な演奏でした。この音楽のプレゼントに患者様からは「良かった！」「楽しかったわ！」等のご感想も。アンコールにはわらべうたの『ずいずいずっころばし』をご用意くださり、歯切れのよいリズムと歌声が会場を駆け巡りコンサートを締めくくりました。ある患者様がこの歌を口ずさまれているお姿もあり、同席のご家族様も喜びと驚きの中ご様子をお話くださいました。このような患者様の普段とは異なるご様子に音楽の不思議な力を感じると同時に、何より患者様が喜ばれていらしたことにスタッフ一同嬉しい思いでいっぱいになりました。

今日の私たちの演奏を皆様に喜んで頂き、私たちにとってもこんなに嬉しいことはございません。少しでもお役に立てたこと、本当に良かったです。皆様と分かち合えたこの時間を支えに、これからも活動を続けて参りたいと思います。皆様の安らかな日々をお祈りすると共に、また皆様にお会いできる日々を楽しみにしています。(ご出演者様より)

11月1日(土) ロビーコンサート 出演:ララ・ミルフィーユ(ソプラノ・ピアノ)



今年最後のロビーコンサートはララ・ミルフィーユのお二人です(臼井奈々様:ソプラノ、宇野理子様:ピアノ)。歌とピアノ・ソロによる童謡・唱歌、オペラ、映画音楽、歌謡曲等全6曲をお届けくださり、様々なジャンルの音楽が味わえるコンサートでした。プログラムはピアノ・ソロの『この道』からスタートです。ピアノが奏でるメロディーとハーモニーが響き渡り、ロビーが一気にコンサート会場へと変わりました。続いての『赤とんぼ』ではソプラノの美しい歌声が抒情的な歌詞とともに患者様のもとへ。お耳馴染みの歌に口ずさまれる方がたくさんおられました。『愛を感じて』は再びピアノ・ソロでのご紹介です。流れるような旋律とキラキラとした高音の素敵な演奏に、会場の皆様は聴き入っていらっしゃる様子でした。『私のお父さん』はオペラ『ジャンニ・スキッキ』からの一曲で、ご表情や仕草等情感たっぷりにイタリア語で歌われ、その歌声に圧倒されました。プログラム最後の『フニクリ・フニクラ』では明るい歌声とピアノの弾むリズムに会場の手拍子・合いの手が入り盛り上がりは最高潮に。アンコールの『見上げてごらん夜の星を』では、対照的にしっとりとした音楽に包み込まれ、何とも言えない心が穏やかになる余韻を残しコンサートが締めくくられました。患者様からは「生演奏が聴けてよかった！」等ご感想もあり、またご参加のご家族様も大変喜ばれておられ、“心に響く音楽”をたくさんいただいたお時間となりました。

本日はとても素敵な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。ありがたい言葉もたくさん頂戴しまして、胸いっぱいです。皆様にまたお会いできる日を楽しみにこれからも精進したいと思います。(ご出演者様より)

10月・11月の企画レクリエーション『秋を楽しむ』 ※内科病棟通常グループレク時間にて



10月と11月は『秋を楽しむ』というテーマで企画レクリエーションを実施。更に主題を“実りの秋”“芸術の秋”の2回に分けて行い、移り変わりゆく『秋』の豊かさを患者様方にお届けいたしました。まず“実りの秋”の回では、ドングリや、栃の実、リンゴの種等の様々な木の実を用いたマラカスをご紹介。「これは栗？」「銀杏かな…」と、会話が盛り上がります。更に秋の唱歌やわらべ歌に合わせて木の実のマラカスの演奏にも挑戦いただきました。秋が旬の食材や草花の漢字クイズと写真鑑賞なども行い、当院の正面玄関前の花壇に金木犀の花が咲いている間は、枝をお持ちしてその芳醇な香りもお楽しみいただきました。“芸術の秋”の回では、世界的に人気な名画である『モナ・リザ』や『落穂拾い』をご紹介。こちらは昨年に引き続き、寄贈いただいた高画質の写真でご紹介し、「知ってる。教科書で見たよ。」「実物が来日した時に見たことがある。」とお話くださる方や、学生時代に模写をされたことがあるという患者様も！更に『イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢』の肖像画をご覧いただきつつ、その少女の美しい髪が亜麻色であることから、レクワーカーによるピアノの演奏『亜麻色の髪の乙女』をお聴きいただきました。実は同名で全く異なる2曲が存在するこの曲、まずはドビュッシー作曲の曲から演奏しますと、美しく柔らかなピアノの旋律と可憐な少女の絵画を見つめながらうっとりとする女性患者様も。続いてヴィレッジ・シンガーズが歌いましたグループサウンズのメロディーをピアノで演奏しました際は、最新技術であるAI(人工知能)に歌詞を引用して描かせた“AI絵画”も見えていただき、新旧様々な技術を感じるひとときとなりました。その後は『青い山脈』や『君の名は』等の懐かしの映画作品の写真をご紹介しますと、当時を思い出され「私も真知子巻き、しましたよ。」と照れながらもお話くださった方も。レクワーカーがアコーディオンにてこれらの映画の主題歌をメドレーにして演奏しますと、会場がどこかノスタルジックでムード溢れる雰囲気になりました。ピアノでは映画『タイタニック』より『マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン』を演奏し、大きな拍手が沸き起こりました。

AI(人工知能)による、『亜麻色の髪の乙女』の歌詞を引用して描かせた“AI絵画”をご紹介します♪

ペットボトルにドングリ等の木の実を入れたマラカスで演奏体験！





## 11月17日(月)・19日(水)・20日(木)・21日(金) お洒落クラブ(セルフハンドマッサージ)



年の瀬が近づき、空気とお肌の乾燥対策も重要になって参りました。内科病棟ではご入院中の患者様方に『メイクボランティアM・B・L』の代表である宮崎優子先生によるレクチャー映像を使用したセルフハンドマッサージに挑戦いただきました。今回もポータブルDVDを用いて各患者様のベッドにてお一人ずつ実施。11月17日の3階中央病棟では、以前も参加いただいたことのある女性患者様が少し手慣れた手付きで指を動かし、マッサージ後には指を見つめてご満足そうに頷かれていました。今回初挑戦された男性患者様は「こんなの、今までやったことないから。」と照れながらも、映像をじっくりご覧になりながら丁寧にクリームを塗ってくださいました。11月19日の3階西病棟では女性患者様お二人がクリームの滑らかな質感を心地良さそうに楽しまれていました。11月20日の3階東病棟では女性患者様が終始にこやかなご表情でマッサージを行われ、しっかりと保湿された手指をこすり合わせ「お肌は手をかけた分、キレイになるわね。気持ちいいわ。」と笑顔を見せてくださいました。11月21日の2階東病棟では、普段はお仕事や家事でお忙しかったという女性患者様も「こんなにたくさんのクリームを使って、こんなに時間をかけてマッサージなんてしたのは、初めてかも。」と感慨深いご表情。お若い頃の思い出もお聞かせいただき、会話も大変盛り上がりました。ご入院生活のほんのひとつきではございますが、どなたにも普段とは異なる少しだけ特別な時間をお届けできた様子に、レクワーカーも嬉しい想いです。

## 11月22日(土)・29日(土) 患者様お誕生会



11月のお誕生会を実施した2日間は、どちらも爽やかな秋晴れに恵まれました。22日の4階西病棟では、この日に向けて医師達と相談を重ね、お祝いのデザートをお召し上がりになられた患者様もおられ、口にされると大変嬉しそうなお笑顔をみせてくださいました。他の方からも「美味しいわ。」「甘い。」のご感想が挙がり、大切な記念日をより豊かにお過ごしただけましたことをスタッフも大変嬉しく感じております。3階西病棟では会場一杯にご家族様や病棟スタッフも集まり、会話や筆談でのやりとりをされながら大変賑やかなひとときに。3階東病棟では、感染対策のため各病室にてお一人ずつお祝いをお伝えしました。まさにこの日に100歳を迎えられた女性患者様には、院長よりお祝い状の贈呈と、レクワーカーによるアコーディオンのお祝い演奏(ご家族様よりリクエストの『白いブランコ』)をお届けいたしました。他の皆様にもスタッフより『ハッピーバースデー』の歌をお贈りすると、同室の皆様からもお祝いの拍手が沸き起こり、温かな雰囲気になりました。29日の3階中央病棟では、多くのご家族様が参加され、音楽のコーナーでは懐かしの曲を一緒に歌ってくださるなどアットホームな会に。2階東病棟では、お集まりの全員が女性という珍しい会となり、院長より患者様のご紹介に「はい。」と手を挙げ返事をくださる方や、ご家族に何度も「ありがとう。」とお伝えになられる方など、様々な場面に華やかさを感じるひとときとなりました。

## 12月6日(土)・13日(土) 患者様お誕生会



6日の4階西病棟では、女性患者様お二人がご参加になり、お化粧をされて大変華やかな雰囲気。お祝いのデザートのプリンをお召し上がりの際には、「ちゃんと食べてる?」「美味しいわね。」と、お互いにお気遣いされて大変優しい雰囲気のひとつとなりました。4階東病棟では、普段は寡黙な男性患者様もご表情を柔らかくし、「ありがとう。」のご感想をくださいました。3階中央病棟では、レクワーカーによるサウンドブロックを用いたお祝いの演奏『故郷』の前に、患者様方お一人ずつへ楽器をご紹介。ある女性患者様は、一緒に参加されたお孫様がお耳のお近くで楽器を鳴らしてください、その音色へ「キレイですね。」と微笑みをお見せくださいました。また別の女性患者様は一緒に参加されたご家族様に優しく頭や肩を触れられ穏やかなご表情。リラックスしてお祝いの席をお楽しみいただけた様子でした。2階東病棟では、ご家族様からお誕生日の贈り物として小さなクリスマスツリーを受け取られた女性患者様や、お祝いの言葉に眼差しと頷きで感謝を返し伝えてくださる方等、皆様へスタッフより沢山の拍手が送られました。13日の3階東病棟では、音楽のコーナーにて『愛は勝つ』をおかけした際に当時の思い出を回想され涙を目に溜められ男性患者様や、サウンドブロックを2個並べて音を聞き比べてくださった男性患者様、記念写真の撮影に目を開けようと力を込めてくださった女性患者様のお姿等、皆様のお姿にスタッフも熱い想いに溢れる事の多い会となりました。

## 12月1日～ 冬至(『鬼柚子』のご紹介) ※内科病棟通常グループレク時間にて



左: 鬼柚子  
左: 花柚子

12月に入り、冷え込みを強く感じるが増えて参りました。内科病棟では、通常のグループレクリエーション及び個別レクにて、地域の方に寄贈いただいた『鬼柚子』をご紹介しました。スーパーなどでも手に入る『花柚子』と呼ばれる種類と比べると、なんと10倍以上の大きさのある『鬼柚子』。患者様方へご紹介しますと、その大きさに皆様びっくりとしたご表情をお見せくださり、「こんなものがあるの!」「初めて見た。」とお声が挙がります。グループレクでは実際に皆様に手でお持ちいただき、重さを当てるゲームも行いました。実際にその場で量りで確認し、花柚子は31g、鬼柚子は631gであったことをお伝えすると、皆様から更に驚かれたように「大きいねえ!」とのご感想もあり、ご紹介しました皆様には二種類の柚子の香りもお楽しみいただき、冬の訪れを感じるひとときとなりました。個別レクでは、冬至には毎年必ず柚子風呂に入ったという男性患者様からは、「子どもがね、必ずお湯の中で(柚子を)揉んじゃって。種まで全部出ちゃって、大変だったんだよ。途中から洗濯ネットに入れていった。」と思い出と共にお知恵もお聞かせいただきました。柚子風呂について調べてみますと、“冬至”と“湯治”を、そして“柚子”と“融通”をかけて、昔のお風呂屋さんが『冬至に湯治を行い、柚子で(年末の忙しさに)融通を通す』という縁起担ぎから始まったとのこと。(諸説有)他にも冬至と言えば“ん”の付く食材が縁起が良いとされ、南瓜(カボチャ)やレンコンを煮た、とお話くださる女性患者様もいらっしゃいました。

## これからの活動予定

12月18日(木)・22日(月)	病棟毎に	クリスマスイベント
1月17日(土)・24日(土)	病棟毎に	患者様お誕生会
2月7日(土)・14日(土)	病棟毎に	患者様お誕生会

★お誕生会・各イベント  
⇒開始時間・会場等、詳しくは院内掲示を御覧ください。

感染予防対策のため、予定を急遽変更させていただく可能性があります。



## ボランティア担当より

当院では12月になりますと、各所にてクリスマスの装飾を行っております。1階薬局前の掲示板では、寄贈いただきました様々なクリスマス飾りを用いた装飾が施され、他には1階ロビーや2階リハビリテーション室、4階生活機能回復訓練室等で、年末の賑やかさをより感じていただければと、スタッフによる華やかな飾りが行われました。(写真右上:1階薬局前、写真左下・中央下:2階リハビリテーション室、写真右下:1階正面玄関前)  
今年も余日を僅かにし、ゆく年を惜しむ頃となりました。改めまして、今年も多くの皆様にお力をお借りし、豊かなひとときを患者様方にお届けできましたことを大変嬉しく感じております。特に、2025年4月からは念願でございましたロビーコンサートも再開し、患者様方からも普段のご入院生活でのご様子とは異なる一面を拝見することができ大変嬉しく感じております。感染対策や安全への配慮は欠かせませんが、ボランティアの皆様に関わっていただくことでこそ引き出せる患者様方の様々なご表情を拝見できるような企画を検討していきたいと思っております。何卒ボランティアの皆様には、引き続きのお力添えいただければ幸いです。当院に関わっていただきます全ての方が、新たな年をより良くお過ごしになれますことを心よりお祈りいたします。(山口)

